

# 校長だより あおすげ

令和5年10月23日号

校長 竹内 重幸

## 〈ふれあいコンサートを終えて〉

全校が一堂に会し「ふれあいコンサート」を行うことができました。会場は、ワクワク感や緊張感、そして達成感などを含む熱気が充満していました。そして、どの学年も、練習の成果が出た最高の発表でした。発表の後の湧き上がるような拍手も印象的でした。

合唱や合奏が持つ最大の魅力は、やはり「たくさんの声・音が重なることで生まれる音色の美しさ」ではないでしょうか。学年全員で音を重ねるためには、同じ思いや気持ちを揃えることが大切になります。そこには、協調性や言葉をもたないコミュニケーション能力が求められます。80人ほどの仲間と、思いや気持ち・声や音が揃ったときにゾク々とするような感動を覚えるような体験は、他の活動ではなかなかできないと思います。

【音楽主任：砂押 教諭より】

今年度、全校で「ふれあいコンサート」を開催することができたこと、たくさんの方にご参観いただき、子供たちにとって素晴らしい経験になったと思います。音楽は発表する場に向かい努力を重ねることで、意欲・表現力が大きく高まります。また本番の演奏を認めてもらうことで、さらに次の活動への意欲が高まります。コンサートを毎年開催する中で、一人一人、そして学年の音楽に対する意欲・表現力を高めていきたいと思います。



さて、「ふれあいコンサート」の目標は、大きく3つあります。

1点目は、一人一人の音楽の表現力の向上と愛好する気持ちを育むことです。

2点目は、学年のまとまりを深めることです。授業などでは、友達に教えてもらったり、友達の音を聴いて合わせたりと、様々な場面で協力し合うことです。

3点目は、ふれあいコンサートを通じた交流です。音楽を通じた交流を広げることも大きな目標です。「ふれあい」とは、そのような点から名付けられたと、私は考えています。

最後に、初めて校歌以外で全校合唱を歌いました。1～6年生まで声をよく揃えて歌うことができていました。初めて全校で歌う中で、声を揃えることができる子供たちの感性は素晴らしいと感じました。これからも青菅小学校のふれあいの輪が広がるよう、子供たちと共に取り組んでいきたいと思っています。

2年生「村祭り」「音楽のおくりもの」



1年生「フルーツケーキ」「だれにだって お誕生日」



3年生

「聖者の行進～小さな世界」

「魔法のあいことば」



4年生

「アンダー・ザ・シー」

「Wish～夢を信じて～」



5年生

「キセキ」

「野空海 (のそみ)」

6年生

「パイレーツオブカリビアン  
メドレー」

「ハイル・ホーリー・クイーン」



合唱部

「ほたるこい」

「童声合唱とピアノのためのリフレインより  
リフレイン」